

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（確定値）

（令和5年3月2日実施）

1 生息数及び構成比

種類	羽数：羽	構成比：%	備考
ガン類	14,585	38.8%	過去 7 番目
ハクチョウ類	934	2.5%	過去 44 番目
カモ類	22,048	58.7%	過去 34 番目
計	37,567	100.0%	過去 11 番目

※ 3月調査は昭和47年度から実施しており、今年度は51回目となる。

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
令和5年3月2日	14,585	934	22,048	37,567
令和4年3月3日	70,120	3,496	40,748	114,364
増減	▲ 55,535	▲ 2,562	▲ 18,700	▲ 76,797

3 主な確認地

地点名	市町村	羽数	昨年の羽数
(1) ガン類			
伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	12,499 羽	33,996 羽
蕪栗沼	(大崎市)	1,850 羽	15,568 羽
波伝谷	(南三陸町)	71 羽	77 羽
黒崎	(南三陸町)	71 羽	0 羽
(2) ハクチョウ類			
大沼	(仙台市)	355 羽	264 羽
馬牛沼	(白石市)	82 羽	77 羽
七北田川 東北新幹線鉄橋	(仙台市)	58 羽	63 羽
(3) カモ類			
南川ダム	(大和町)	1,704 羽	2,290 羽
伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	1,579 羽	2,414 羽
化女沼	(大崎市)	947 羽	2,949 羽

4 調査箇所数

県内のガン，ハクチョウ，カモ等の飛来地522か所

5 調査人員

県職員，県自然保護員，蒲生を守る会及び日本雁を保護する会等 100人

6 その他

本調査の内容については，宮城県自然保護課ホームページで確認できます。
HPアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

7 飛来状況

昨年は厳しい寒波のため，ガンカモ類の北帰行が遅れたが，今年は例年通り2月上旬から始まった。しかし，その後の寒さによって移動のペースが遅くなった。2月24日以降の気温上昇によって北帰行が一気にすすみ，大部分の群れが北上したが，北帰行の期間はもう少し続くと考えられる。